

科目名	コミュニケーションスキルアップ	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	片岡紀予
学科・コース	スーパークリエイター科昼間部ー 1年Aクラス	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30時間 1単位		
教員の略歴	北里大学卒業後、日油株式会社勤務。放送大学卒業。精神福祉士取得、コミュニケーション、心理学講師						
授業の学習 内容	社会人になってるための基本的なコミュニケーション力をつける。今後の研修、就職活動に向けて自己理解を深め、自分の長所や短所の理解を深めておく。プレゼンテーション、チーム企画などの力をつける。研修先で必要なコミュニケーション力をつける。						
到達目標	前期は自己理解、他者理解を深めることでコミュニケーション力を上げていく。後期はCSU検定の合格、履歴書をかけるだけの自己理解、就職活動に活かせるコミュニケーション力をつけていく。						
評価方法と基準	テスト結果50%出席率50%(出席率を点数化。ただし公欠による欠席は出席としてカウントします。遅刻が多い場合も減点態度となりますが、遅延の場合を除きます)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	グループワーク:授業内容説明、自己紹介ワーク	教科書1章を読む
2	4月27日	講義・演習	グループワーク:好きな物マップ。自分を知ってもらう	教科書2章を読む
3	5月11日	講義・演習	1対1ワーク:トランプトーク。聴く話すの基本を学ぶ	教科書2章を読む
4	5月18日	講義・演習	グループワーク:WHO am I。自己分析	教科書2章を読む
5	6月1日	講義・演習	個人ワーク:エゴグラム。心理テスト	授業後、自己分析のまとめ
6	6月8日	講義・演習	グループワーク:言葉で伝える図形	教科書2章を読む
7	6月15日	講義・演習	プレゼン:おいしいもの自慢。プレゼン基礎	プレゼンテーションについて調べる
8	6月22日	講義・演習	グループワーク:日常行動テスト。自己分析	普段自分を理解するように意識する
9	6月29日	講義・演習	グループワーク:ジェスチャーゲーム、模擬店	教科書3章を読む
10	7月6日	講義・演習	グループワーク:ストローク。肯定的関り	普段肯定的関りを意識する
11	7月13日	講義・演習	グループワーク:もし~がなかったら。プレスト会議の基礎	教科書3章を読む
12	7月20日	講義・演習	グループワーク:How much価値観	他者との価値観の違いを意識する
13	9月7日	講義・演習	グループワーク:なぞの宝島・わたしのイメージ	教科書3章を読む
14	9月14日	試験	前期理解度試験	
15	9月21日	講義	全体まとめと反省	
準備学習 時間外学習			基本的には教科書を授業前、後で目を通しておく。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
CSU教科書、配布資料				

科目名	デザインベーシック I C	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	熊谷 哲也
学科・コース	スーパークリエイター科屋間部 1年Aクラス	授業 形態	実技	総時間 (単位)	60時間 2単位		
教員の略歴	造形(デザイン)の基礎を学ぶこの授業を担当して31年目。切る、貼る、測る、塗る手作業の品質を高め、楽しく厳しく創り学んできました。						
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>この授業は、物事を創造し表現する為に必要な基礎力(基礎デザイン力)を養う授業です。その為には「美しい表現とは何か？」を積極的に探します。</li> <li>一日も休まず、遅刻せず確実に授業に出席し、継続して基礎デザインを学ぶことであなたの理解は深まります。</li> <li>手仕事という大切な技術力を通じて「美しさ、丁寧さ、正確さ」の品質を高めましょう。</li> <li>常に日常を観察する意識をもち、知らない事を知り、発見する楽しさを得て下さい。</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>美しい形、美しい色彩の効果を学び、美しい構図を創れるようにする。</li> <li>課題の正しい解釈(発想や着眼点の適切な判断)をし、人に分かりやすく伝えられるようにする。</li> <li>絵具(デザイナーズカラー)と色紙(トータルカラー)を用いた課題を通じて手仕事の大切さを知り、高い品質で制作できるようにする。</li> <li>様々なアイデアと表現の可能性に気付けるようにする。</li> <li>100%の出席率を目指し、学ぶ楽しさを確実に身につける。</li> </ul>						
評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価点A/提出作品の品質(着眼点・色彩・形・構成・丁寧で美しい手仕事)</li> <li>評価点B/授業内での積極性</li> <li>評価点C/準備及び自宅学習の提出及び品質</li> <li>評価点D/出席状況</li> </ul> 以上4項目を吟味判断し評価する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月23日	講義と実技1	道具の確認とカッターの使い方を学ぶ(曲線・直線の切り方)	自宅で正円のカット練習
2	5月14日	講義と実技2	絵具の使い方を学ぶ(平塗りの経験/面相筆と平筆)	平塗りの練習、正円のカット練習
3	5月21日	講義と実技3	紙とは何か? 紙を理解した後に水張りの手順を学ぶ	平塗りの練習
4	5月28日	実技4	課題1 半円を用いて色と接し、平塗りを習得する	水張りの復習(手順の整理と理解)
5	6月4日	実技5	課題1 継続	平塗りの復習(技術の理解と実践)
6	6月18日	講義と実技6	課題1 講評 課題2 幾何学図形で美しい構成を学ぶ	3種図形(○△□)の美しい設計を理解する
7	6月25日	実技7	課題2 幾何学図形の構成/確立	構成の可能性を探る
8	7月2日	実技8	課題2 幾何学図形の構成/仕上げ	作品の理解と完成
9	7月9日	講義と実技9	課題2 作品の理解と説明	作品の分析
10	7月16日	実技10	夏期課題の説明。	夏期課題の準備と実行
11	9月3日	講評	夏期課題の講評(自分の作品の到達点を判断する)	夏期課題の理解と分析
12	9月10日	実技11	課題3 短時間制作/着眼点(デザイン)の可能性	作品の分析、再制作
13	9月17日	実技12	課題4 短時間制作/発想の可能性	作品の分析、再制作
14	9月24日	実技13	課題5 短時間制作/形と色の可能性	作品の分析、再制作
15	10月1日	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習		授業時間では足りない、アイデア出し・ビジュアル作成・材料購入を主に学習課題とします。		
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名	デッサン I C	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	山崎隆
学科・コース	スーパークリエイター科昼間部一年Aクラス	授業 形態	実技	総時間 (単位)	90時間 3単位		
教員の略歴	1981武蔵野美術大学大学院造形研究科修了 1982～2003 同大学共通彫塑研究室助手・講師						
授業の学習 内容	①観察力を高める 全ての教科の基礎となる の眼、五感を通し想像する力を高める への先入観や苦手意識を取り省きながら、簡単な形態から徐々に難しいものの描写へと進める						② ③自己 ④描くこと
到達目標	①遠近法をしっかりと理解する 体的にモチーフを観察できる のあるしっかりとした描写が出来る						②立 ③存在感
評価方法と基準	①各授業ごとの理解度 前期2回程度のコンクール形式の作品の点数						②

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月23日	実技	基本的道具の使用方法 粘土を用立方体を制作後描写	
2	5月14日	実技	粘土による立体デッサン(靴)・1	
3	5月21日	実技	粘土による立体デッサン・2	提出
4	5月28日	実技	黒長靴の描写	提出
5	6月4日	実技	遠近法(四角形)	提出
6	6月18日	実技	遠近法(円柱型)	提出
7	6月25日	実技	量感のあるモチーフ・1	提出
8	7月2日	実技	量感のあるモチーフ・2	提出
9	7月9日	実技	コンクール	
10	7月16日	実技	クロッキー(友人)	提出
11	9月3日	実技	友人像	提出
12	9月10日	実技	自画像	提出
13	9月17日	実技	自由課題	提出
14	9月24日	実技	コンクール	
15	10月1日	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名	英会話	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	ILC
学科・コース	スーパークリエイター科昼間部 1年Aクラス	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30時間 (1)		
教員の略歴	滋慶学園の英語教育に長期にわたって従事。Active Learningに取り組みコミュニケーション主体の授業を実施。						
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥づかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。						
評価方法と基準	定期テスト(筆記100%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	挨拶が出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 1
2	4月27日	講義・演習	個人の情報を聞きだすことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	オンラインプラクティス Unit 3
3	5月11日	講義・演習	好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返すことができるようになる	オンラインプラクティス Unit 6
4	5月18日	講義・演習	相手に意見を聞くことが出来るようになる 相手に意見を伝えることができるようになる 誘いに返答することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 8
5	6月1日	講義・演習	相手について褒めることが出来るようになる 褒め言葉に対して返答出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 11
6	6月8日	講義・演習	時間について尋ねる、伝達することが出来るようになる 日常生活について尋ねることが出来るようになる 日常生活について説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 7 & 13
7	6月15日	講義・演習	継続して質問することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 14
8	6月22日	講義・演習	場所について質問出来るようになる ある場所を説明することが出来るようになる 道案内ができるようになる 明確な説明をお願い出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 19 & 20
9	6月29日	講義・演習	頻度について質問出来るようになる 頻度を説明することが出来るようになる 値段について質問出来るようになる 値段を説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 21 & 23
10	7月6日	講義・演習	食べ物について質問が出来るようになる 食べ物を説明出来るようになる レストランで注文出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 28
11	7月13日	講義・演習	過去のことについて質問ができるようになる 過去のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 29 & 30
12	7月20日	講義・演習	将来のことについて質問ができるようになる 将来のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 32
13	9月7日	講義・演習	試験対策授業	オンラインプラクティス ALL Unit
14	9月14日	試験	定期試験	定期試験の復習
15	9月21日	講義	振り返り	前回までの内容の確認
準備学習 時間外学習		自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。		
【使用教科書・教材・参考書】 □				
Speak Now 1				

科目名	日本語コミュニケーションN1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	宇津木 洋子
学科・コース	スーパークリエイター科屋間部1年Aクラス	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 1単位		
教員の略歴	日本語教育能力検定試験合格、中学校・高等学校教員専修免許取得(国語科・更新講習受講済)						
授業の学習 内容	日本国内での就職を視野に、日本語のコミュニケーション力の向上を目指し、論理性・独自性・正確性・表現力を養います。 * 授業内で書く力を養うため、交換日記形式の記述ワークを導入します。 * 前期はプレゼンテーションができるようになることを目指します。 * 後期は日本語スピーチコンテストでの発表を目指します。						
到達目標	1. 日本語で自分の考えを言葉で伝えられるようになる。 2. 日本語で自分の考えを文字で伝えられるようになる。 3. チーム制作で発表原稿を作れるようになる。 4. セルフマネジメント能力を身につける						
評価方法と基準	毎回の授業で出される課題(提出物、口頭発表)について、 (1)論理性 (2)独自性 (3)正確性 (4)表現力 (5)意欲 の観点から評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月23日	講義と演習	日本語プレースメントテスト	
2	5月14日	講義と演習	自己紹介①自己紹介ができる	交換日記(記入と総評黙読)□
3	5月21日	講義と演習	自己紹介②クラスメイトの名前を覚える	交換日記(記入と総評黙読)□
4	5月28日	講義と演習	日本語学習の意義①今の能力と必要な能力を知る	交換日記(記入と総評黙読)□
5	6月4日	講義と演習	日本語学習の意義②学習法を紹介する	交換日記(記入と総評黙読)□
6	6月18日	講義と演習	プレゼンへ向けて①緊張しない工夫をする	交換日記(記入と総評黙読)□
7	6月25日	講義と演習	プレゼンへ向けて②持ち時間に合わせて話す	交換日記(記入と総評黙読)□
8	7月2日	講義と演習	プレゼンに向けて③自分の意見を述べる	交換日記(記入と総評黙読)□
9	7月9日	講義と演習	プレゼンに向けて④論理的に話す	交換日記(記入と総評黙読)□
10	7月16日	講義と演習	プレゼンに向けて⑤質疑応答をする	交換日記(記入と総評黙読)□
11	9月3日	講義と演習	プレゼンテーション①グループ発表(準備週)	交換日記(記入と総評黙読)□
12	9月10日	講義と演習	プレゼンテーション②グループ発表(発表会)	交換日記(記入と総評黙読)□
13	9月17日	講義と演習	プレゼンテーション③個人発表(準備週)	交換日記(記入と総評黙読)□
14	9月24日	試験	プレゼンテーション④個人発表(発表会)	交換日記(記入と総評黙読)□
15	10月1日	講義	振り返り	交換日記(記入と総評黙読)□
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
プリント				

科目名	日本語コミュニケーションN2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	森 壮
学科・コース	スーパークリエイター科屋間部1年Aクラス	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30時間 1単位		
教員の略歴	玉川国際学院 局長						
授業の学習 内容	日本国内での就職を視野に、日本語のコミュニケーション力の向上を目指し、コンセプト(考える力)、クリエイティビティ(創る力)、プレゼンテーション(伝える力)を養います。 ※授業内で書く力を養うため、交換日記形式の記述ワークを導入します。 ※後期は日本語スピーチコンテスト・えどがわーどでの発表を目指します。						
到達目標	①日本語で自分の考えを言葉で伝えられるようになる。 ②日本語で自分の考えを文字で伝えられるようになる。 ③チーム制作で発表原稿を作れるようになる。						
評価方法と基準	1)出席率 50% ※授業態度不良の場合は出席率から減点対象とする。 2)評価点 50% ①コンセプト ②クリエイティビティ ③プレゼンテーション ※提出物を総合的に判断し、講評にて本人に通知。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月末	講義と演習	プレイメントテスト	
2	5月13日	講義と演習	自己紹介のスピーチ(1)	交換日記(記入と総評黙読)
3	5月20日	講義と演習	自己紹介のスピーチ(2)	交換日記(記入と総評黙読)
4	5月27日	講義と演習	自己紹介のスピーチ(3)	交換日記(記入と総評黙読)
5	6月3日	講義と演習	自分の趣味や好きなことの紹介と、それが好きな理由を伝える(1)	交換日記(記入と総評黙読)
6	6月17日	講義と演習	自分の趣味や好きなことの紹介と、それが好きな理由を伝える(2)	交換日記(記入と総評黙読)
7	6月24日	講義と演習	自分の趣味や好きなことの紹介と、それが好きな理由を伝える(3)	交換日記(記入と総評黙読)
8	7月1日	講義と演習	自分の国や出身地域の紹介をする(1)	交換日記(記入と総評黙読)
9	7月8日	講義と演習	自分の国や出身地域の紹介をする(2)	交換日記(記入と総評黙読)
10	7月15日	講義と演習	自分の国や出身地域の紹介をする(3)	交換日記(記入と総評黙読)
11	9月2日	講義と演習	日本と自分の国のどちらに旅行に行こうか迷っている人に対して、自分の国をアピールする(1)	交換日記(記入と総評黙読)
12	9月9日	講義と演習	日本と自分の国のどちらに旅行に行こうか迷っている人に対して、自分の国をアピールする(2)	交換日記(記入と総評黙読)
13	9月16日	講義と演習	日本と自分の国のどちらに旅行に行こうか迷っている人に対して、自分の国をアピールする(3)	交換日記(記入と総評黙読)
14	9月30日	試験	プレゼンテーション試験	交換日記(記入と総評黙読) 課題制作(試験課題は前回授業のもの)
15	10月1日	講義	振り返り	交換日記(記入と総評黙読) □
準備学習 時間外学習			前授業の復習および提示課題制作 □	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
プリント及びデータにて配布				

科目名	デッサンⅢA	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	荒井
学科・コース	スーパークリエイター科昼間部ー 3年Aクラス	授業 形態	実技	総時間 (単位)	90時間 3単位		
教員の略歴	長年TCAのデッサン講師を勤める						
授業の学習 内容	デッサンはあらゆるビジュアル表現の基礎となります。1,2年生の復習と確認をしながらたくさん描く						
到達目標	まず様々な対象を描けるようにする。特にパース(図学遠近法)を完璧に習得することを目標にする						
評価方法と基準	成績、授業態度の総合評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	実習と講義	幾何学形態を描くⅠ	遠近法の復習
2	4月26日	実技	幾何学形態を描くⅡ	観察スケッチ
3	5月10日	実技	日用品をモチーフ	自分の日用品を描いてみよう
4	5月17日	実技	工業製品をモチーフに	自分の日用品を描いてみよう
5	5月24日	実習と講義	風景画のパース	観察スケッチ
6	5月31日	実技	風景画のパース	観察スケッチ
7	6月7日	実技	ヌードクロッキー	人物写真をスケッチしよう
8	6月21日	実技	人物描写 クラスメートを描く	家族や友人をクロッキーしよう
9	6月28日	実習と講義	石膏デッサン	ネットや本で参考作品を観る
10	7月5日	実技	石膏デッサン	陰影法のトレーニング
11	7月12日	実技	石膏デッサン	陰影法のトレーニング
12	7月19日	実技	石膏デッサン	陰影法のトレーニング
13	9月6日	実習と講義	室内空間のパース	実物か写真でクロッキー
14	9月13日	実技	室内空間のパースⅡ	実物か写真でクロッキー
15	9月27日	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
鉛筆セット、練り消しゴム、カッター				